つるが国際シンポジウム2026
私と原子力　地域共生活動

2026年11月14日

関西電力株式会社
立地室　立地グループ（福井班）
高見澤 香津美

プロフィール



- 氏　名　　高見澤　香津美
  （たかみざわ　かつみ）
- 生年月日　1969年９月３日（５７歳）
- 最終学歴　1988年 福井県立敦賀高等学校 卒業
- 趣　味　　スキューバダイビング・ライブ観戦
- 所　属　　関西電力（株）立地室
  現在：原子力発電所のリプレース検討に
  向けた理解活動に取り組んでいます



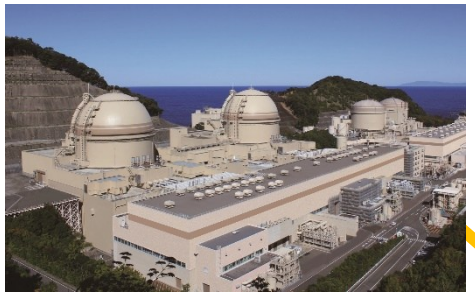


関西電力の原子力発電所

美浜発電所

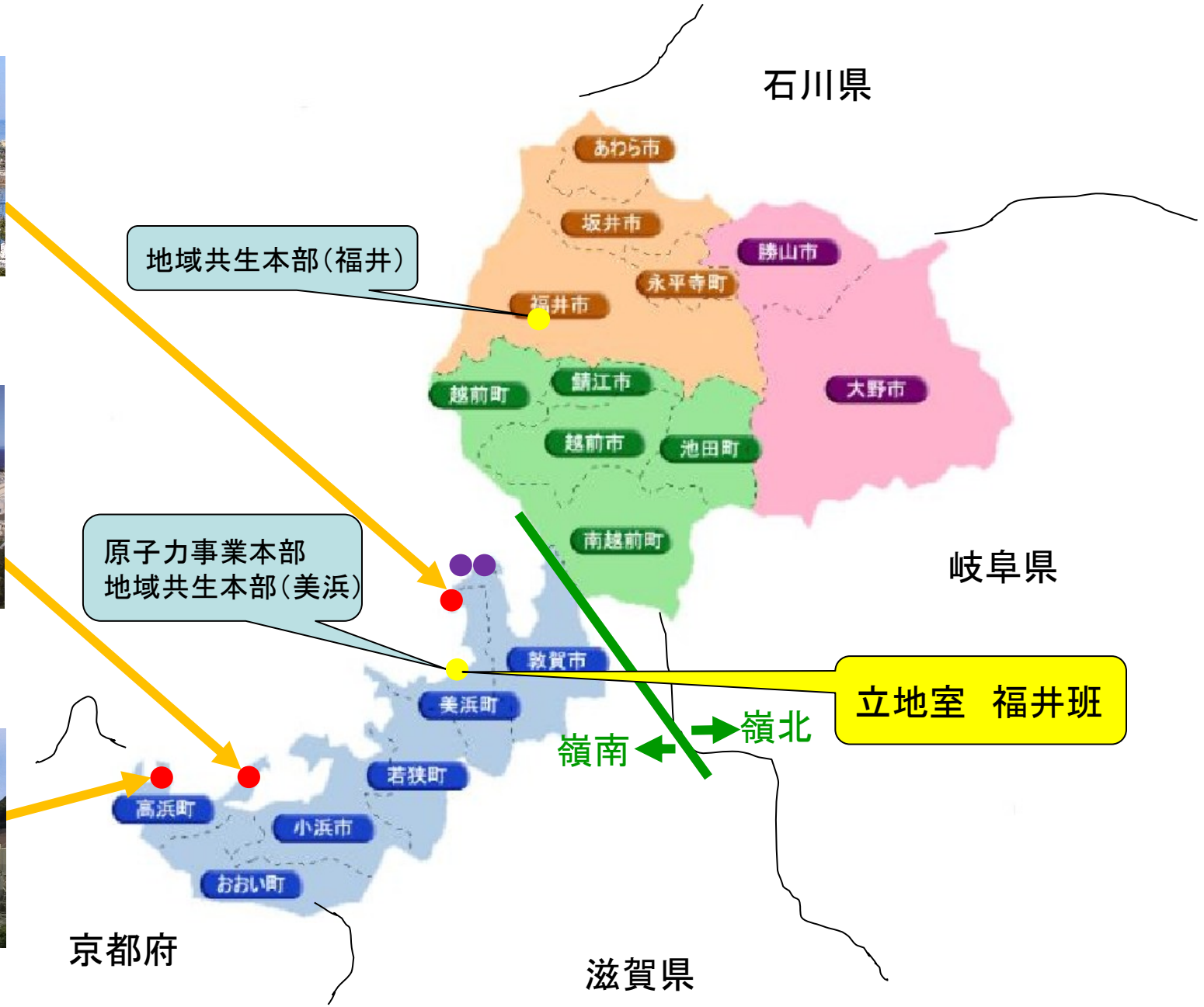


大飯発電所



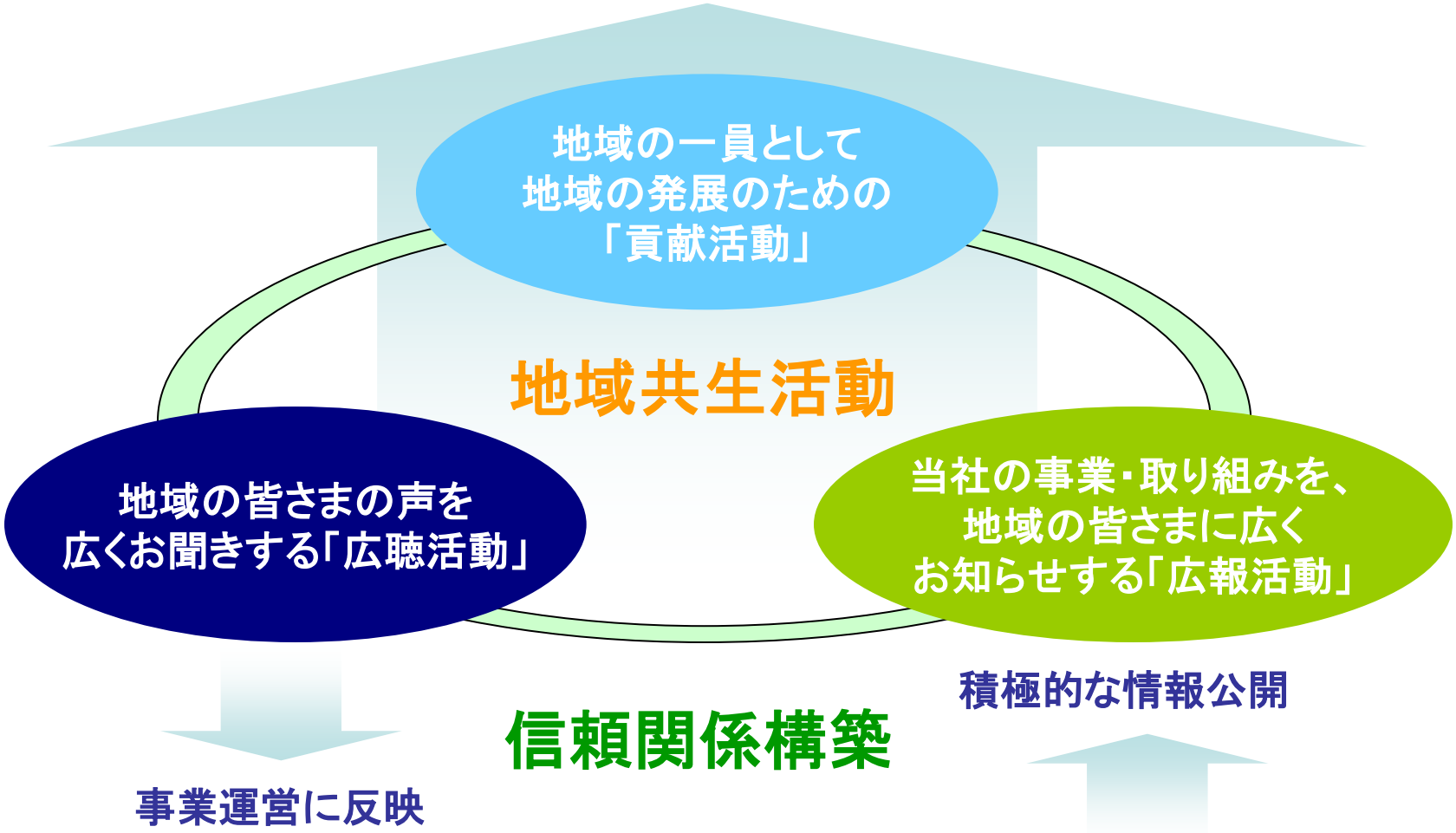
高浜発電所





原子力部門の地域共生活動

原子力事業・取り組みに対するご理解・ご信頼



原子力発電所の安全・安定運転

社会的責任の全う

原子力部門の地域共生活動

地域の一員として
地域の発展のための
「活動」

◆地域貢献活動◆

●地域美化活動への参加

・海岸や公共施設、福祉施設等の美化
活動への参加



「美しい浜プロジェクトin水晶浜」に参加

◆地域の一員としての活動◆

●美浜・五木ひろしふるさとマラソンへの参加



●美浜町民レガッタへの参加　※ローイング（ボート）競技



●福井県等が実施する首都圏でのＰＲイベントへ協力



原子力部門の地域共生活動

地域の皆さまの声を
広くお聞きする「広聴活動」

●各戸訪問による地元の方々との対話活動
（原子力事業に従事する社員が参加）



●原子力懇談会の開催
（地元の方々と社長、経営層との直接対話）



●各種説明会の開催（各種団体への出前説明会等）



原子力部門の地域共生活動

当社の事業・取り組みを、地域の皆さまに広くお知らせする「広報活動」

●発電所見学会の開催（原子力発電所を間近で見ていただく）



ＶＲ映像を用いたご説明

●地域交流誌「越前若狭のふれあい」の発刊（原子力の動向などを福井県民にお知らせ）





●当社ホームページやＳＮＳでの配信（Facebook、Youtube等）



2020年11月、美浜発電所が運転開始から50年を迎えたことを受けて制作した動画です。ぜひご覧ください。

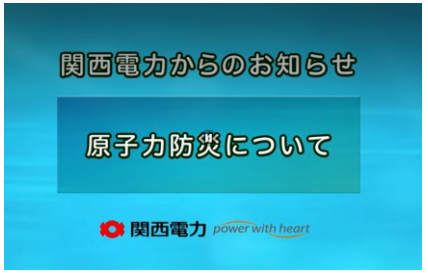
原子力50年動画（Youtube）



従業員紹介（X、Facebook）

●ケーブルテレビ「E～仲間たち！」の放映（原子力の動向などを福井県民にお知らせ）





リプレース検討に向けた地域への理解活動

◆原子力発電所の設置には、地元のご理解を前提として、計画から環境影響評価、建設工事、運転開始に至るまで、20年程度の長い時間が必要

◆私たちは、発電所と地域社会が長く共存していくための橋渡し役を担っており、**地域の方々の信頼を得るため、息の長い地道なコミュニケーション活動**を実施

顔を覚えてもらう

日常的に
顔を合わせる

声をかけてもらえる

会社の人間としてだけでなく
「一個人」としても受け入れてもらえる

「地域に溶け込むことが日常」

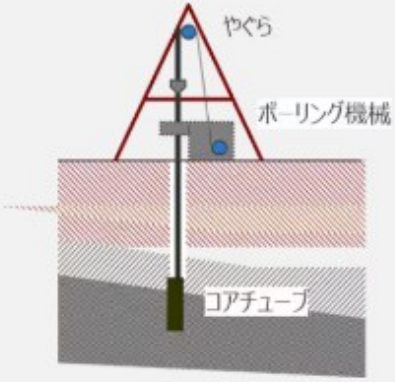
リプレース検討に向けた自主的な調査

◆第7次エネルギー基本計画では「原子力の最大限活用」が
明確に位置付けられ、持続的な原子力利用の方向性が示されました

◆東日本大震災により発生した福島第一原子力発電所事故により
２０１１年３月１２日以降見合わせていた美浜発電所のリプレース検討のための自主的な現地調査を**２０２５年１１月５日**に再開しました

ボーリング調査





地表踏査



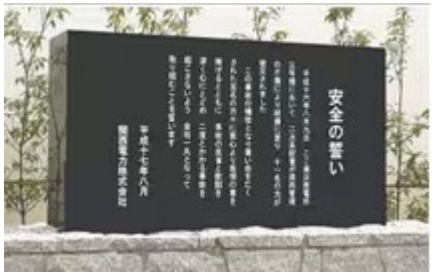
私と関西電力の関わり

１９８８年３月　敦賀高等学校卒業　※生まれも育ちも敦賀
１９８８年４月　関西電力（株）入社
「土木建築課」に配属され課内の庶務全般を担当　※女性社員が少ないことに驚き
１９９６年４月　若狭支社内の「環境モニタリングセンター」に異動
発電所周辺の放射線および放射能測定の補助を担当
ここで**放射線**を学び、見学者向けの放射線パンフレット作成
※この当時は車両認定も取得したが「女のくせに生意気だ」と言われ、男性よりも厳しく指導を受けることもあった
１９９９年４月　男女雇用機会均等法の改正
「コミュニケーショングループ（広報）」に異動　広報誌・ＴＶ番組製作等担当
※性別問わず仕事が付与され、原子力広報（情報発信）に従事
２００９年２月　「地域共生グループ」に異動
福井県嶺北の原子力推進諸団体に溶け込む日常
２０１１年３月　京都支店「人材活性化グループ」に異動
人事で教育全般、採用全般を担当　※会社のしくみを学ぶ
２０１３年８月　「美浜発電所」に異動　※協力会社の方々と触れ合う
２０１９年６月　地域共生グループ副長に昇格　※原子力では初の高卒事務系女性役職者
２０２４年６月　立地室内の「立地グループ（福井班）」に異動

私と原子力

大きな出来事

・美浜発電所３号機配管破損事故
　決して風化させてはいけない
　このような事故を二度と起こしてはならないという固い決意



「安全の誓い」の日を制定

・福島第一原子力発電所の事故
　原子力に従事している自分は加害者では、、、という思い
　家族の被災
　再稼働に向けた強い思い、理解活動

・美浜でのリプレース検討に向けた自主的な調査の再開
　「発電所の建設に携わりたい」という入社当初からの志に一歩近づいた

原子力と地域の将来に向けて

次の世代の人たちへ繋ぐ

・原子力の世界はまだまだ男性が多い
・性別関係なく「この人だからこの仕事をやってもらいたい」と言ってもらえるよう自分の道を切り開いてほしい

この地と共に未来へ

・地域の方々とのお付き合いは、
イベントや行事ごとの関わりではなく、
原子力発電所がその地にある限り
長く続いていく関係

・私にとって地域の方々との関わりは、
どこかで区切りをつけるものではなく、
ずっと続いていくもの







ご清聴ありがとうございました